



# 意欲的に歩く園児たち

倉吉東保育園

倉吉東保育園（倉吉市上井・大橋和久園長）は、子どもたちに「歩くこと」を意識づける取り組みに力を入れています。同園では3歳児から5歳児は登園すると腰に万歩計をつけ、帰る時にその日歩いた歩数を記録します。

この取り組みを始めたのは、2001年。九州のある保育園の園児が毎週1回、自然観察などを兼ねて約4<sup>km</sup>を歩く取り組みをしているのを、大橋

園長が知ったのがきっかけでした。ちょうど子どもたちの体力低下がテレビや新聞で取り上げられていたころ。「歩くことがすべての運動の基本になるのではないか」と考え、取り組みを始めました。

取り組みを始めて今年で6年。「歩くこと」を強制したり競争したりしませんが、園児それぞれが目標を持って主体的に取り組んでいます。意欲的に園庭で遊ぶ園児たち。毎週1回、打吹山や天神川などで探検や自然観察を行う「ちびっこ探検隊」では、自然の中を力いっぱい走り回ります。

同園では毎年10月、船上山や蒜山などへ親子遠足に出かけます。歩き慣れた子どもたちは、親よりもどんどん速く歩いています。同園の取り組みは、確実に実を結んでいます。



登園すると園児は万歩計をつける